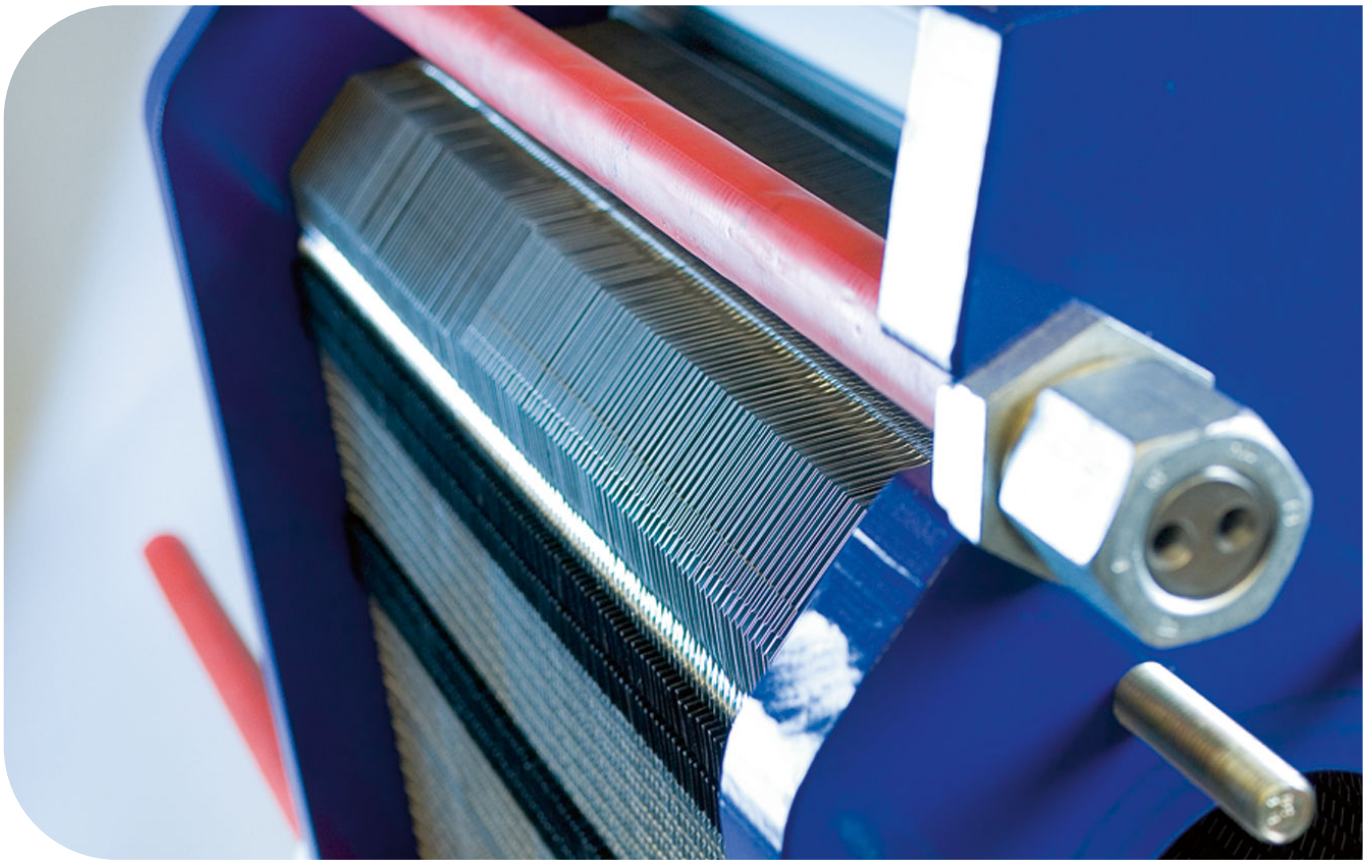
ガスケット式平板熱交換器

工場ライン – T6–BZM, T6–PZM, T10–BZM, T10–MZM



Lit. コード 200000807-4-JA

取扱説明書

日本語

発行者:
アルファ・ラバル・ツンバ AB
Box 74
情報をご希望の方は、Rudeboksvägen 1
226 55 Lund, スウェーデン
+46 46 36 65 00
+46 46 30 50 90
info@alfalaval.com

取扱説明書の原版は英語です

© Alfa Laval Corporate AB 2021-04

この文書およびその内容は、Alfa Laval Corporate AB が所有する著作権およびその他の知的財産権の対象となっています。この文書のいかなる部分も、Alfa Laval Corporate AB の書面による事前の明示的な許可なしに、いかなる形式、手段、目的であっても、複製、再生産、送信することはできません。本書で提供される情報やサービスは、利用者への利益やサービスとして提供されるものであり、これらの情報やサービスの正確性や適合性については、いかなる目的のためにも表明や保証を行うものではありません。すべての権利は留保されています。

English

Download local language versions of this instruction manual from www.alfalaval.com/gphe-manuals or use the QR code

Český

Stáhněte si místní jazykovou verzi tohoto návodu k obsluze z www.alfalaval.com/gphe-manuals nebo použijte QR kód.

Dansk

Hent lokale sprogversioner af denne brugervejledning på www.alfalaval.com/gphe-manuals eller brug QR-koden.

Deutsch

Sie können die landessprachlichen Versionen dieses Handbuch von der Website www.alfalaval.com/gphe-manuals oder über den QR-Code herunterladen.

ελληνικά

Πραγματοποιήστε λήψη εκδόσεων του παρόντος εγχειριδίου οδηγιών σε τοπική γλώσσα από το www.alfalaval.com/gphe-manuals ή χρησιμοποιήστε τον κωδικό QR.

Español

Descárguese la versión de este Manual de instrucciones en su idioma local desde www.alfalaval.com/gphe-manualso utilice el código QR.

Eesti

Selle kasutusjuhendi kohaliku keele versiooni saate alla laadida lingilt www.alfalaval.com/gphe-manuals või kasutades QR-koodi.

Suomalainen

Laitaa tämän käyttöohjeen suomenkielinen versio osoitteesta www.alfalaval.com/gphe-manuals tai QR-koodilla.

Français

Téléchargez des versions de ce manuel d'instructions en différentes langues sur www.alfalaval.com/gphe-manuals ou utilisez le code QR.

Hrvatski

Preuzmite lokalne verzije jezika ovog korisničkog priručnika na poveznici www.alfalaval.com/gphe-manuals ili upotrijebite QR kod.

Magyar

Az Ön nyelvére lefordított használati útmutatót letöltheti a www.alfalaval.com/gphe-manuals weboldalról, vagy használja a QR-kódot.

Italiano

Scarica la versione in lingua locale del manuale di istruzioni da www.alfalaval.com/gphe-manuals oppure utilizza il codice QR.

日本の

www.alfalaval.com/gphe-manuals からご自分の言語の取扱説明書 をダウンロードするか、QR コードをお使いください。

한국의

www.alfalaval.com/gphe-manuals 에서 이 사용 설명서의 해당 언어 버전을 다운로드하거나 QR 코드를 사용하십시오.

Lietuvos

Lejupielādējiet šīs rokasgrāmatas lokālo valodu versijas no vietnes www.alfalaval.com/gphe-manuals vai izmantojiet QR kodu.

Latvijas

Atsisiųskite šios instrukcijos versijas vietos kalba iš www.alfalaval.com/gphe-manuals arba pasinaudokite QR kodu.

Nederlands

Download de lokale taalversies van de instructiehandleiding vanaf www.alfalaval.com/gphe-manuals of gebruik de QR-code.

Norsk

Last ned denne instruksjonshåndboken på lokalt språk fra www.alfalaval.com/gphe-manuals eller bruk QR-koden.

Polski

Pobierz lokalne wersje językowe tej instrukcji obsługi z www.alfalaval.com/gphe-manuals lub użyj kodu QR.

Português

Descarregue as versões locais na sua língua deste manual de instruções a partir de www.alfalaval.com/gphe-manuals ou use o código QR.

Português do Brasil

Faça download das versões deste manual de instruções no idioma local em www.alfalaval.com/gphe-manuals ou use o código QR.

Românesc

Versiunile în limba locală ale acestui manual de instrucţiuni pot fi descărcate de pe www.alfalaval.com/gphe-manuals sau puteţi utiliza codul QR.

Русский

Руководство пользователя на другом языке вы можете загрузить по ссылке www.alfalaval.com/gphe-manuals или отсканировав QR-код.

Slovenski

Prenesite različice uporabniškega priročnika v svojem jeziku s spletne strani www.alfalaval.com/gphe-manuals ali uporabite kodo QR.

Slovenský

Miestne jazykové verzie tohto návodu na používanie si stiahnite z www.alfalaval.com/gphe-manuals alebo použite QR kód.

Svenska

Ladda ned lokala språkversioner av denna bruksanvisning från www.alfalaval.com/gphe-manuals eller använd QR-koden.

中国

从 www.alfalaval.com/gphe-manuals 或使用 QR □下□此使用□ 明□的本地□言版本。

目次

1 はじめに 7
1.1 使用用途 7
1.2 合理的に予見可能な不適当な使用 7
1.3 予備知識 7
1.4 配信された技術情報 8
1.5 製品保証 8
1.6 アドバイス 8
1.7 環境コンプライアンス 9

2 安全 11
2.1 安全への配慮 11
2.2 表現の定義 11
2.3 個人用保護具 12
2.4 高所での作業 13

3 説明 15
3.1 構成部品 15
3.2 ネームプレート 17
3.3 A 寸法 19
3.4 機能 20
3.5 プレートの識別 21

4 設置 23
4.1 取り付け、持ち上げ、輸送前 23
4.2 必要条件 25
4.3 クレートの取り扱い 27
4.3.1 クレート—検査 28
4.3.2 持ち上げと輸送 28
4.4 クレートの開梱 30
4.4.1 製造側—開く 31
4.4.2 フリップボックス—開く 32
4.4.3 細工された側—開く 33
4.4.4 箱外し後の点検 34
4.5 装置の持ち上げ 35
4.6 吊上げ 39
4.7 取り付け前の点検 41

5 運転 43
5.1 起動 43
5.2 運転中の熱交換器 45
5.3 停止 45

6 メンテナンス....47
6.1 洗浄 - 非製品側....48
6.2 分解....50
6.2.1 ボルトの構成....50
6.2.2 開放の手順....50
6.3 分解洗浄....54
6.3.1 水とブラシによる堆積物の除去....54
6.4 組立....55
6.5 メンテナンス後の圧力試験....58
6.6 ガスケット交換....59
6.6.1 クリップ・オン式 / クリップ・グリップ式....59
7 プレート式熱交換器の保管....61
7.1 クレートでの保管....61
7.2 休止....62

1 はじめに

本取扱説明書は、ガスケット式平板熱交換器の設置、運転、メンテナンスに必要な情報を提供します。

本書では、以下の型式を取り扱います。

- T6
- (T10)

1.1 使用用途

この装置の使用目的は、決められた構成に従って熱を伝達することです。

他のすべての使用は禁止されています。上記の使用目的以外の目的で機器を使用した場合、アルファラバルは一切の傷害または損傷の責任を負わないものとします。

1.2 合理的に予見可能な不適当な使用

- この取扱説明書に記載されている以外の方法でクレートや装置を持ち上げたり輸送したりしないでください。
- プレート式熱交換器に接続するようにパイプを接続します。パイプの接続方法を間違えると、ガスケットやライニングが損傷することに繋がります。
- 半溶接ユニットでは、間違ったパイプが間違ったポートに接続されている場合、安全上の問題があって、PHE 図面に従って、正しいメディアが正しいポートに接続されていることを再確認します。
- 一度に多くのプレートにぶら下がったり移動したりすると、ハンガーが損傷するおそれがあります。一度に 1 枚または数枚のプレートを取り扱うことを勧めます。
- A 寸法を設定するときは、斜めにずれたり蛇行したりしないように、常にボルトを横方向に均等に少しずつ締めます。*A 寸法*の詳細については、*説明*編の A 寸法セクションを参照します。
- 停止後、プレートが変形しないように、ゆっくりと流量を増やします。
- 最初に、ガスケットの亀裂を回避したり、ブローアウトを作成したりするために、穏やかに温度を上げます。

1.3 予備知識

プレート式熱交換器は本説明書の取扱指示を習得し、当該プロセスの知識を持つ人物が操作するものとします。これにはプレート式熱交換器の流体の種類、圧力、温度に関する安全上の注意点、プロセスに必要とされる具体的な安全上の注意点の知識も含まれます。

プレート式熱交換器のメンテナンスおよび設置は、現地の法規制に基づく知識と許可を保持する人が実施するものとします。熱交換器のメンテナンスおよび設置は、配管、溶接その他のメンテナンス等の作業も含まれる場合があります。

本説明書で解説されていないメンテナンス作業については、アルファ・ラバル担当者までお問い合わせください。

1.4 配信された技術情報

マニュアルを完全なものであることを確認するためには、以下の提供されたドキュメントに、この取扱説明書のユーザーがアクセスできる必要があります。

- **適合宣言書**
- **スペアパーツリスト**
  機器製造に使用する材料表。
- **プレート吊りリスト**
  チャンネルプレートの取り付けについての説明。
- **技術仕様**
  接続情報、測定値及びセクション情報。
- **プレート式熱交換器（PHE）図面**
  納入されたプレート式熱交換器の図面。

納入されたプレート式熱交換器の重量とすべての寸法は、付属の PHE 図面に記載されています。

リストされているドキュメントは、納入された製品に唯一のものである（機器のシリアル番号）。取扱説明書には、必要に応じて、これらの指示を完全に理解するために必要な技術文書、図面、および図表を添付するものとします。

このマニュアルに記載されている PHE 図面は、納品に含まれている図面です。

1.5 製品保証

製品保証条件は、納品されたプレート式熱交換器発注前の売買契約に含まれています。あるいは、製品の保証条件は販売提示書や有効な条件を指定した文書に含まれている場合があります。指定された製品保証期間内に問題が発生した場合は、いつでもアルファ・ラバルの担当者までお問い合わせください。

プレート式熱交換器が稼働した日付を、現地のアルファラバル担当者に報告します。

1.6 アドバイス

以下の事項に関するアドバイスは、お近くのアルファ・ラバル 担当者までお問い合わせください。

- プレート枚数の変更を行う場合における、新規プレートパックの寸法
- 使用温度や使用圧力を恒久的に変更する場合、または別の流体に変更する場合におけるプレート式熱交換器のガスケット材質の選択

1.7 環境コンプライアンス

アルファ・ラバルは、自社の業務をよりクリーンにそして効率的に行い、製品の設計、製造、メンテナンス、マーケティングの際に、環境への配慮を取り入れるように努力しています。

廃棄物管理

安全で環境に配慮した方法で、または国の法律または地域の規制に従って、すべての材料とコンポーネントを分別に、リサイクルにし、または廃棄します。コンポーネントの材料について如何なる不明な点がある場合は、最寄りのアルファラバル販売会社に問い合わせてください。認定された（ISO 14001 または類似のもの）廃棄物処理または廃棄物処理業者を利用します。

開梱

梱包材は、木材、プラスチック、段ボール、場合によっては金属ストラップを使用しています。

- 木材と段ボールは、再利用、リサイクル、またはエネルギー回収に使用できます。
- プラスチックはリサイクルするか、認可を受けた廃棄物焼却場で焼却する必要があります。
- 金属ストラップは金属のリサイクルに送付する必要があります。

メンテナンス

- すべての金属部品は金属のリサイクルに送付する必要があります。
- 油および金属以外の磨耗部品は、地域の法規制に従って処理する必要があります。

廃棄

使用を終えた機器は、地域の関連する法規制に従ってリサイクルするものとします。機器のほかに、プロセス液体からの有害残留物についても考慮し、適切に処理する必要があります。ご不明な点や地域の法規制がない場合は、お近くのアルファ・ラバル販売会社までお問い合わせください。

2 安全

2.1 安全への配慮

プレート式熱交換器は、本説明書に記載のアルファ・ラバルの取扱説明に従って使用・メンテナンスする必要があります。プレート式熱交換器の誤操作により、人への傷害や器物への損害を伴う深刻な問題が発生する可能性があります。アルファ・ラバルは、お客様が本取扱説明書を遵守しなかったことに起因するいかなる傷害や損害についても、責任を負いかねます。

本プレート式熱交換器は、本器に特定の材料、媒体の種類、温度、圧力に従って使用する必要があります。

2.2 表現の定義

警告 危険の種類

WARNING は、回避されない場合は死亡または重傷につながる可能性がある危険な状態を示します。

注意 危険の種類

CAUTION は、回避されない場合は軽度または中程度の傷害につながる可能性がある危険な状態を示します。

注意

注意は、回避されない場合は機器の損傷につながる可能性がある危険な状態を示します。

2.3 個人用保護具

保護靴

落下した物による足の怪我を最小限に抑えるために補強されたつま先キャップを備えた靴。

保護用ヘルメット

事故による怪我から頭部を保護するために設計されたヘルメット。

保護ゴーグル

目を危険から保護するために着用される、ぴったりとフィットする眼鏡。

保護手袋

危険から手を守る手袋。

2.4 高所での作業

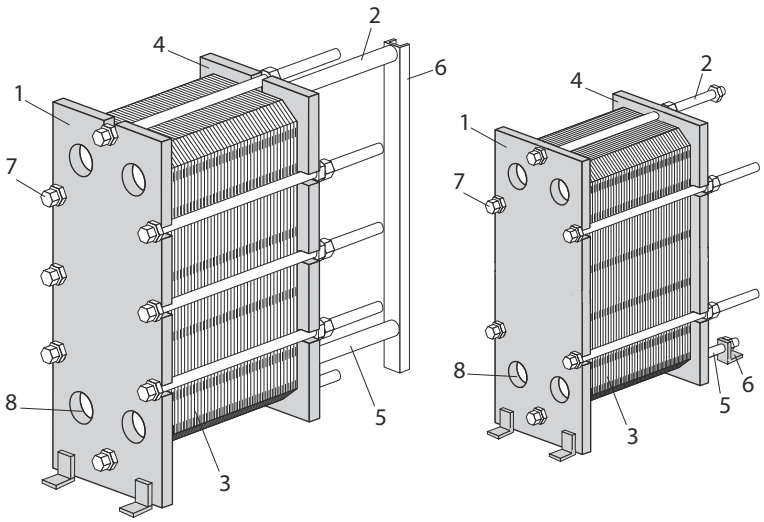
設置が 2 メートル以上の高さで作業する必要がある場合は、安全対策を考慮する必要があります。

警告 落下の危険があります。

高所でのあらゆる種類の作業では、常に安全なアクセス手段が利用可能であり、使用されていることを確認します。現地での作業の高さの規制とガイドラインに従います。足場またはモバイル作業プラットフォームと安全ハーネスを使用します。作業領域の周囲に安全境界を作成し、ツールやその他の物体が落下しないように保護します。

3 説明

3.1 構成部品



主要構成部品

1. 固定フレーム
配管接続用に様々な個数のポート穴が開けられた固定プレートです。キャリングバーとガイドバーは固定フレームに取り付けられています。

2. キャリングバー
プレートパックと遊動フレームが取り付けられています

3. プレートパック

熱はプレートを通じて、1 つの媒体から、別の媒体へと伝えられます。プレートパックは、チャンネルプレート、エンドプレート、ガスケット、場合によってはトランジションプレートで構成されています。

4. 遊動フレーム

プレートパックをフレームプレートに押し付ける可動プレート。

5. ガイドバー

チャンネルプレートと遊動フレームの下部を正しい位置に保持します。

6. 支柱
キャリングバーとガイドバーを支えます。
T6 および(T10)プレート式熱交換器モデルの場合、支柱の代わりに支え脚が使用されます。

7. 締付ボルト
固定フレームと遊動フレームの間のプレートパックを圧縮します。
締付ボルトは通常 4 本、場合により 6 本あります。締付ボルトはプレート式熱交換器の分解・組立に使用されます。
その他のボルトはロックボルトとして使用されています。

8. ポート穴

フレームプレートのポート穴により、プレート式熱交換器からの媒体の出入りが可能となっています。

接続

- スタッドボルト

  熱交換器のフランジ接続はポート穴周囲のスタッドボルトで固定されています。

オプション部品

- フート

  プレート式熱交換器をボルトで基礎に固定して安定させるために使用されます。

- プロテクションシート

  プレートパックをカバーし、高温流体や危険な流体の洩れ、および高温のプレートパックから保護します。

3.2 ネームプレート

熱交換器の型式、製造番号、製造年はネームプレートに記載されています。適用される圧力容器の法規制に従い、圧力容器の詳細も記載されています。ネームプレートは通常固定フレームに取り付けられていますが、遊動フレームに取り付けられている場合もあります。ネームプレートは金属製の場合とステッカーラベルの場合があります。

警告 **機器を損傷するリスク。**

設計圧力および設計温度は各器のネームプレートに記載されています。記載値を超えた圧力及び温度で使用しないでください。

注意 **機器を損傷するリスク。**

ステッカーのラベルが使用されている場合は、プレート式熱交換器の洗浄に強い化学物質を使わないでください。

ネームプレートに記載された設計圧力 (11) と設計温度 (10) は、適用される圧力容器の法規に従ってプレート式熱交換器が認定を受けた値です。設計温度 (10) は、ガスケットが選択された最高使用温度 (8) を超える場合があります。PHE 組立図に記載された使用温度を超える場合は、納入者にご相談ください。

1. ロゴスペース

2. 空欄

3. サービス用ウェブサイト

4. コネクション配置図/3A ユニット用 3A タグ位置図

5. 認証マーク用スペース

6. マニュアル参照マーク、警告マーク

7. 圧力試験日

8. 最高使用温度

9. 製造者試験圧力 (PT)

10. 設計温度　最低/最高 (TS)

11. 設計圧力　最低/最高 (PS)

12. 各側の内容積(V)

13. 各流体のコネクション位置

14. 流体グループ

15. 製造年

16. シリアル番号

17. 型式

18. 製造者名

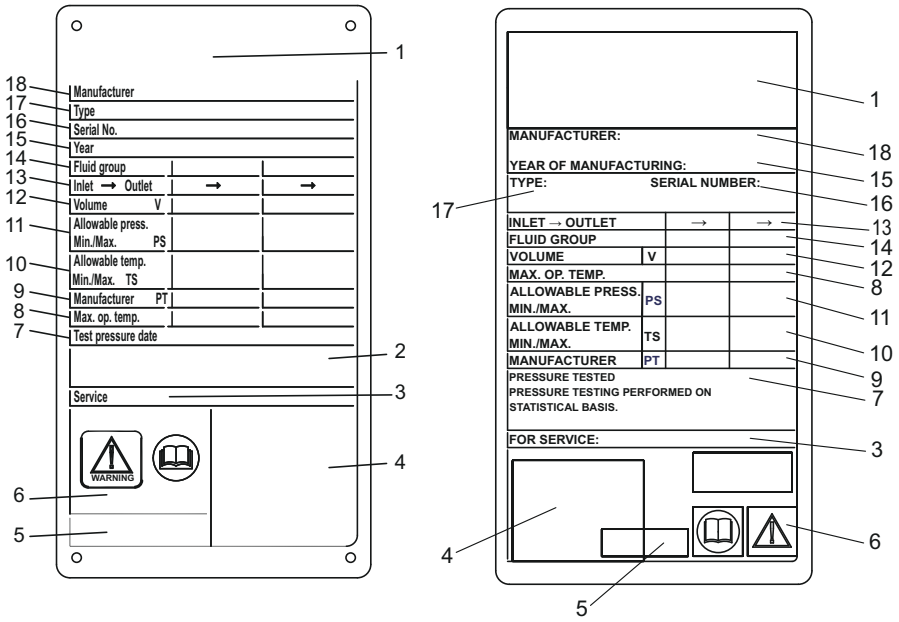
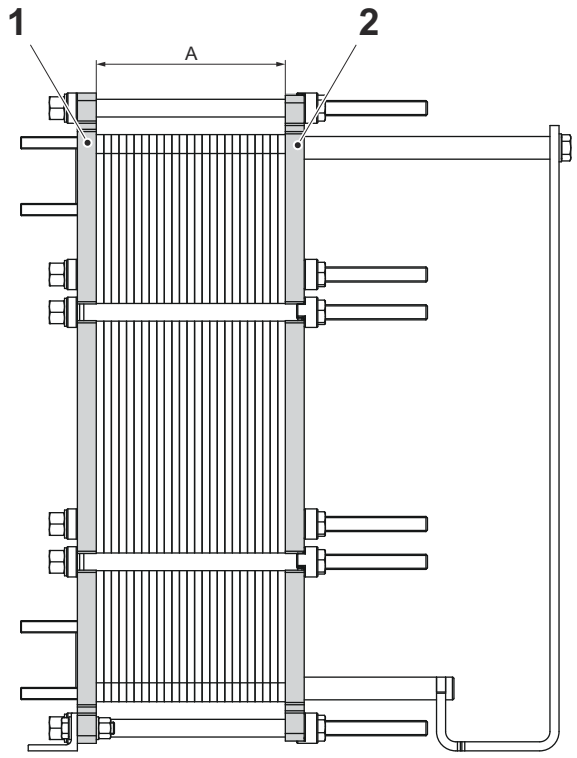


図 1 金属製ネームプレート例は左、ステッカーラベルネームプレート例は右

3.3 A 寸法

A 寸法は、フレームプレート（1）からプレッシャープレート（2）までの距離です。



3.4 機能

プレート式熱交換器 は 2 つの流体の出入口が設けられた波型形状の金属プレートを重ねたプレートパックで構成されています。これらのプレートを通して 2 種類の流体間における熱伝導が発生します。

プレート･パックは、固定フレームと遊動フレームの間に組み付けられ、締付ボルトで所定寸法に締付けられます。プレートにはガスケットが取り付けられ、プレート間に形成された通路をシールし、もう一方の通路に流体を導きます。プレートの波型形状により流体の乱流を促進し、差圧に対してプレートをサポートします。

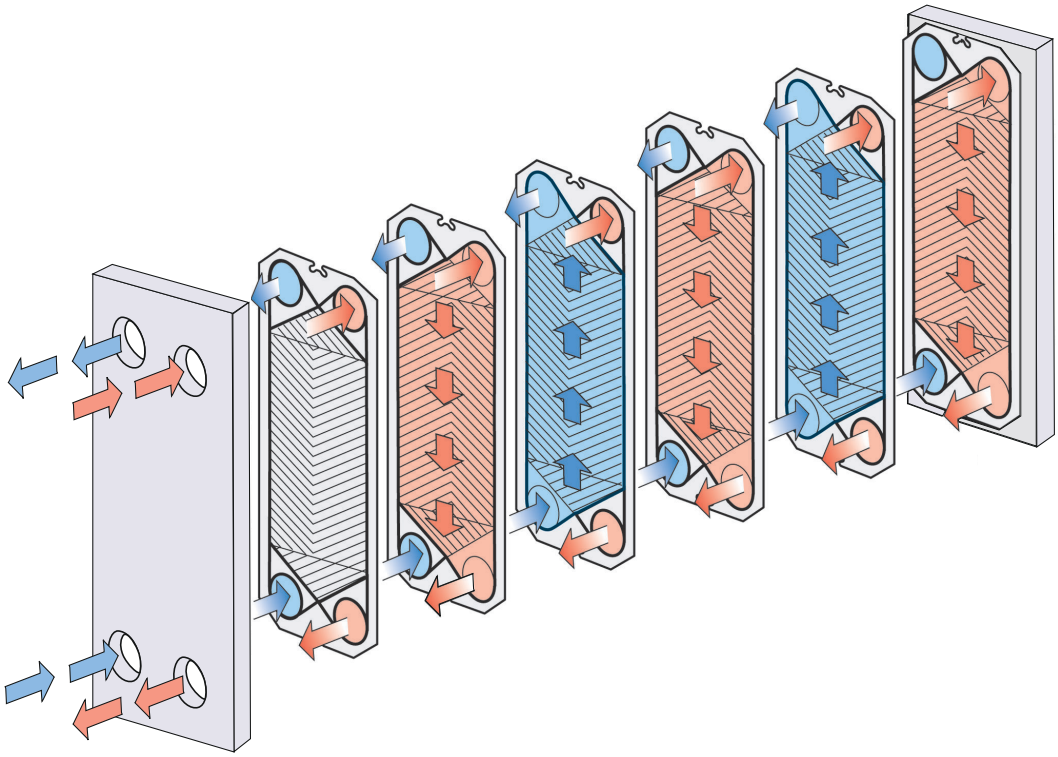
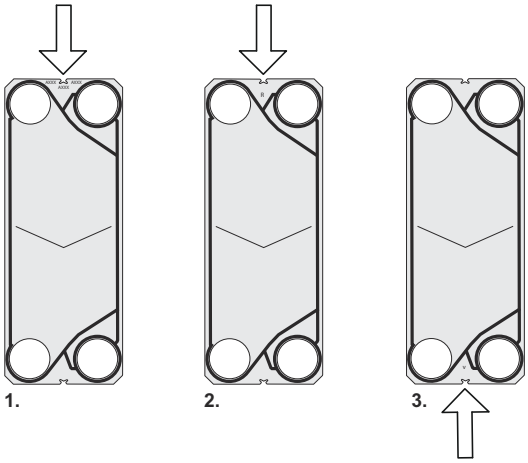


図 2 複数パス設定の一例

3.5 プレートの識別

プレートの A 側（対称パターン）は、プレート上端の「A」の文字、型式名、またはその両方の刻印で識別します。(下図 1 を参照)

非対称パターンを有するプレートには、ガスケットを配置するための 2 つの可能な側面があります。ワイド側の図 2 のパターンには A W の印が付けられており、通常側の図 3 のパターンには B N の印が付けられています。



4 設置

4.1 取り付け、持ち上げ、輸送前

注意 機器を損傷するリスク。

設置または保守の際には、プレート式熱交換器とそのコンポーネントを損傷しないように注意する必要があります。コンポーネントの損傷は、プレート式熱交換器の性能や保守性に悪影響を及ぼす可能性があります。

警告 人身傷害のリスク。

装置は重いです。

装置を手動で持ち上げたり移動したりしてはいけません。

設置前の注意事項

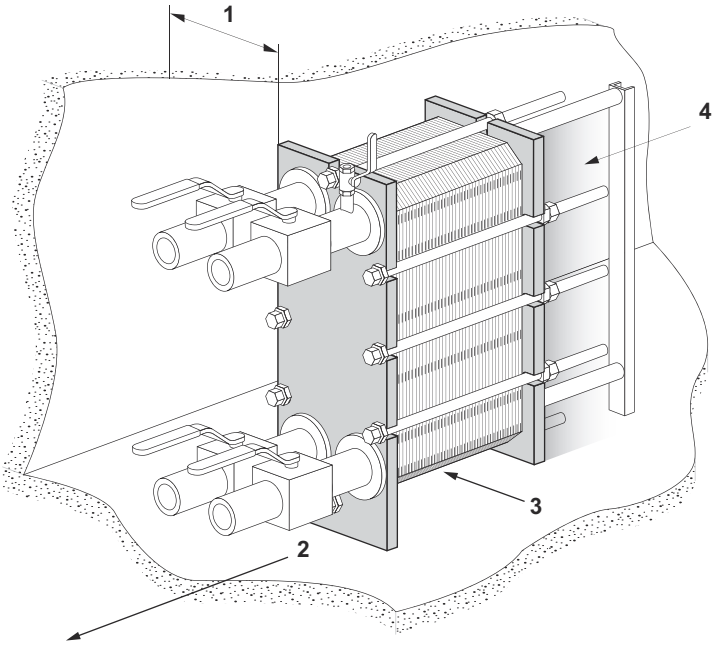
- 取り付ける前にプレート式熱交換器を梱包しておきます。
- 配管を接続する前に、プレート式熱交換器に接続される配管システムから異物が洗い流されていることを確認します。
- 配管を接続する前に、フートのボルトが締付けられており、プレート式熱交換器が基礎に堅く固定されていることを確認します。
- 始動前に、すべての締付ボルトが堅く締付けられ、プレートパックの寸法が正しいことを確認します。PHE 図面を参照します。
- 配管を接続する際には、配管がプレート式熱交換器に応力や歪みを与えないことを確認します。
- 振動を避け、必要に応じて如何なる防振装置を取り付けます。
- フォロアとコネクタグリッドのプレート式熱交換器の接続は、配管作業やノズルの負荷に対して強度がほとんどありません。そのような負荷は、例えば熱膨張から生じる可能性があります。このようなパイプの力とモーメントがプレート式熱交換器に伝わらないように、適切な注意を払う必要があります。
- ウォーターハンマーを回避するため、高速閉止型バルブを使用しないでください。
- プレート式熱交換器内部に空気が残留していないことを確認します。
- 圧力容器の法規制に従って安全弁を設置する必要があります。
- プロテクションシートを使用してプレートパックを覆うことを推奨します。プレートパックをカバーし、高温流体や危険な流体の洩れ、および高温のプレートパックから保護します。
- プレート式熱交換器の表面温度が高温や低温となることが予想される場合は、作業員のリスクを回避するため、プレート式熱交換器を断熱材で覆うなどの保護対策を講じてください。必要な処置が現地の法規制に準拠していることを確認してください。
- 各器の設計圧力と設計温度がネームプレートに記されています。これらの圧力と温度を超えないようにしてください。

- このプレゼンテーションで指定されている階層に従います。
- フローリングの状態を確認します。
- 常にリスク評価を完了してください。
- タスク用に設計されたフレームと機器を使用します。
- 装置を開梱または移動する前に、必ず重心を確認します。重心をできるだけ低く保ちます。
- 常にゆっくりと安定して移動します。

リスクアセスメント

取り扱いのたびに、箱詰めまたは箱外しされた機器を持ち上げて輸送する前に、常に徹底的なリスク評価を行います。

4.2 必要条件



スペース

実際の測定値については、付属の PHE 図面を参照します。

1. プレートの取り外しと取り付けのためにフリースペースが必要です。
2. 締め付けボルトを外すためのフリースペースが必要です。サイズは締め付けボルトの長さに依存します。
3. メンテナンスのために締付ボルトとロックボルトの下部にフリースペースが必要です。
4. ガイドバーの支えが必要な場合があります。
5. 影の部分の内側には、固定されたパイプや脚、留め具等の固定部品を使用しないでください。

基礎

機器の重量に合わせて設計された平らな土台に取り付けます。

エルボ

配管の取り外しを容易にするため、遊動フレームに接続された配管は、プレート式熱交換器の外形よりも外側にフランジを設けて、エルボを上向きまたは横向きにして取り付ける必要があります。

シャットオフバルブ

プレート式熱交換器を分解することが出来るように、すべての配管に閉止バルブを設置する必要があります。

コネクション

様々な接続方法で配管と熱交換器を接続できます。フランジ接続はスタッドボルトで固定します。

配管からの過度な負荷は避けてください。

必要な人員

プレート式熱交換器の設置と取り扱いには、少なくとも 2 人が必要です。

4.3 クレートの取り扱い

警告 人身傷害のリスク。

箱詰めおよび箱外しの機器の持ち上げと輸送は、熟練した従業者が行う必要があります。*序文*編の*予備知識*を参照します。

プレート式熱交換器はパレットで配送され、クレートで梱包するか、またはストレッチフィルムで包むことができます。クレートには 3 つの主なバージョンがあります。

- 製造側—側面と上面は別々に製造されています
- フリップボックス—両側にヒンジがあり、上部が緩めるボックス
- 細工された側—配送用に梱包されたときの側面と上面に細工されたボード

重心はクレートまたはラッピングに表示されています。

クレートには、表に従って他の記号も付いています。

記号	意味
	重心
	上に積み重ねない
	壊れやすい
	この面を上に

4.3.1 クレート–検査

荷降ろしを開始する前にクレートの外側を調べ、輸送による如何なる損傷を報告します。如何なる損害が発生した場合は保険会社に連絡します。

4.3.2 持ち上げと輸送

警告 人身傷害のリスク。

装置は重くて敏感であり、注意して取り扱わなければなりません。

許可されていない担当者は、箱詰めまたは箱外しの機器を取り扱う際に、定義されたリスク領域に立ち入ることはできません。

警告 機器を損傷するリスク。

クレートは、ホイストスリングがクレートの上部を押す力に耐えるようには設計されていません。

常にフォークリフトを使用して、箱詰め機器を持ち上げて輸送します。

警告 人身傷害のリスク。

吊り荷の下で作業してはいけません。

警告 人身傷害のリスク。

積載物に対して承認され、地域の規制に従っているフォークリフトを常に使用します。

ラベル、シンボル、および警告プラカードは、クレートの外面に配置されており、遵守する必要のある取り扱い原則の概要を示しています。

- 吊り荷を放置してはいけません。
- 機器が箱詰めされているかどうかにかかわらず、納入されたパレットと一緒に組み立てられるときは、フォークリフトを使用して持ち上げる必要があります。
- 吊り上げと輸送を徹底的に計画します。
- 箱詰めまたは箱外しの機器の持ち上げおよび輸送の危険領域を定義します。
- 常に箱詰めまたは箱外しされていない機器を持ち上げて輸送する前に、危険領域と輸送方法のリスク評価を行います。
- クレートは突然の衝撃や動きにさらされないでください。クレートは耐荷重性ではないため、積み重ねたり、他のアイテムを載せたりしてはなりません。
- クレートは指示された直立位置に保つ必要があります。
- 指示どおりにクレートを持ち上げます。床を掃除するのに十分なだけ持ち上げます。
- 荷物を持ち上げてゆっくりと静かに運搬します。
- 箱詰め機器は、フォークリフトを使用してパレット内で持ち上げる必要があります。
- フォークリフトのフォークの長さは、パレットの奥行きと同じか、それより長くする必要があります。

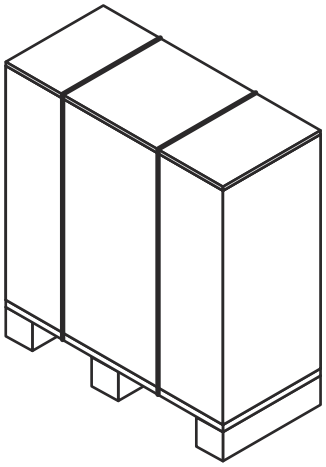
- クレートが持ち上げ装置で安定していることを確認します。
- クレートを目的地に移動します。
- クレートを床までゆっくりと下げ、周囲に十分なスペースを残して、すべての側面に簡単にアクセスできるようにします。
- クレートがしっかりと支えられていることを確認します。必要に応じて、ブロックまたはプレートをその下に置きます。
- 吊り荷の下で作業するとき、たとえばスタンドを組み立てるときは、木製の梁などを使用して荷が落ちないように固定する必要があります。
- 重心は常にフォークリフトのフォークの間にある必要があります。

クレートが転倒したり、極端な湿度にさらされたりしたかどうかを示すラベルを、クレートまたは機器に貼ることができます。

4.4 クレートの開梱

対応するタイプのクレートの手順に従ってください：

- 製造側-*製造側—開く*手順を参照
- フリップボックス-*フリップボックス—開く*手順を参照
- 細工された側面-*細工された側面—開く*手順を参照



開梱エリア

最小の開梱エリアは、最大のクレートのサイズの少なくとも 2 倍でなければなりません。

クレートを取り外しても、装置がパレットに組み込まれている場合は、如何なる緩んでいる部品またはパレットに組み込まれている小さな部品を取り外してください。

装置は、プラスチックバンド付きのパレットまたはネジで組み立てることができます。プラスチックバンドが切断されています。ネジを外します。

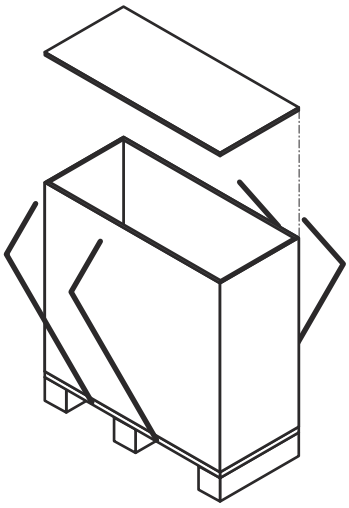
4.4.1 製造側–開く

警告 人身傷害のリスク。

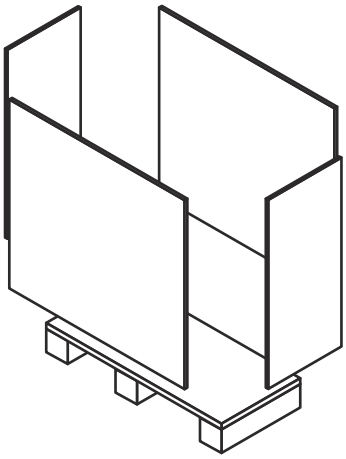
機器または緩んだ物体が落下する可能性があります。プラスチック製のストラップは切り落とすとカチッと音がする場合があります。クレートと機器に鋭利なエッジ、破片、釘がある場合があります。

開梱および設置時に装置を取り扱う際には、個人用保護具を着用します。装置は注意して取り扱います。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

1. プラスチックバンドを切り取って、クレートの上部を取り外します。



2. ネジまたは釘を外して側面を分解します。



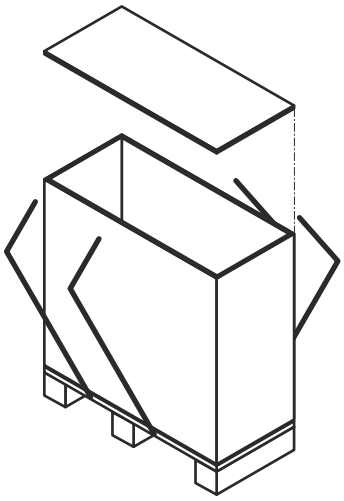
4.4.2 フリップボックス–開く

警告 人身傷害のリスク。

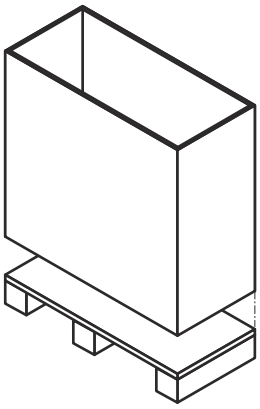
機器または緩んだ物体が落下する可能性があります。プラスチック製のストラップは切り落とすとカチッと音がする場合があります。クレートと機器に鋭利なエッジ、破片、釘がある場合があります。

開梱および設置時に装置を取り扱う際には、個人用保護具を着用します。装置は注意して取り扱います。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

1. プラスチックバンドを切り取って、クレートの上部を取り外します。



2. フリップボックスを持ち上げて、パレットから取り外します。



4.4.3 細工された側–開く

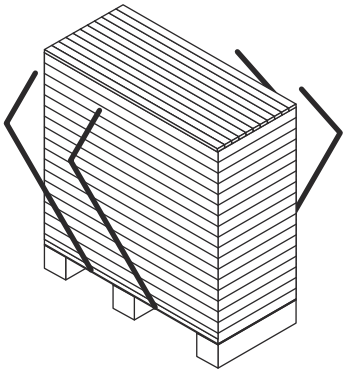
警告 人身傷害のリスク。

機器または緩んだ物体が落下する可能性があります。プラスチック製のストラップは切り落とすとカチッと音がする場合があります。クレートと機器に鋭利なエッジ、破片、釘がある場合があります。

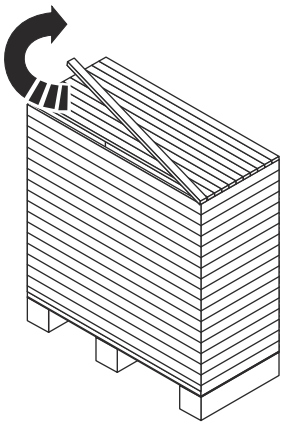
開梱および設置時に装置を取り扱う際には、個人用保護具を着用します。装置は注意して取り扱います。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

側面と上面が細工されたクレートがボードで組み立てられます。

1. プラスチックバンドを切り取って、取り外します。



2. クレートの上部から始めて、一度に 1 枚のボードを取り外します。



3. 上部のボードが完全に取り外されたら、引き続き側面のほうを取り外します。

4.4.4 箱外し後の点検

機器を目的地に設置した場合は、必ず以下の点検を行います。

- A 寸法を確認します。
- すべてのボルトが適切に締められていることを確認します。
- スタンドと脚が適切に締められていることを確認します。

> **注意**
>
> 一部の機器は、スタンドを分解して出荷されます。

- サービスを実行するために接続配管を取り外すことができることを確認します。
- プレート式熱交換器の片側のプレートを取り外すのに十分なスペースがあることを確認します。

4.5 装置の持ち上げ

機器が設置される位置になるまで、すべての取り扱い関連事項を処理するために、リギング会社のサービスを利用することを勧めます。

警告 人身傷害のリスク。

機器が重く、重心が高く配置します。

箱詰めおよび箱外しの機器の持ち上げと輸送は、熟練した従業者が行う必要があります。*はじめに*編の*予備知識*のセクションを参照します。

警告 人身傷害のリスク。

機器または緩んだ物体が落下する可能性があります。プラスチック製のストラップは切り落とすとカチッと音がする場合があります。クレートと機器に鋭利なエッジ、破片、釘がある場合があります。

開梱および設置時に装置を取り扱う際には、個人用保護具を着用します。装置は注意して取り扱います。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

警告 人身傷害のリスク。

吊り荷の下で作業してはいけません。

警告 人身傷害のリスク。

箱詰めまたは箱外しの機器を持ち上げて取り扱う際は、一人で作業してはいけません。

許可された作業員のみが、責任をもって安全かつ正しい吊上げ器具の選択を行い、また吊上げ、および持上げ作業を実行します。プレート式熱交換器の重量として承認されている損傷のないホイストスリングを使用します。図のように吊り上げポイントを使用します。装置にリフティングアイボルトがある場合は、これらを使用する必要があります。

特に明記されていない場合は、2 つのホイストスリング（1）および（2）を使用し、吊り上げ角度（α）が 45°～90°の間であることを確認します。

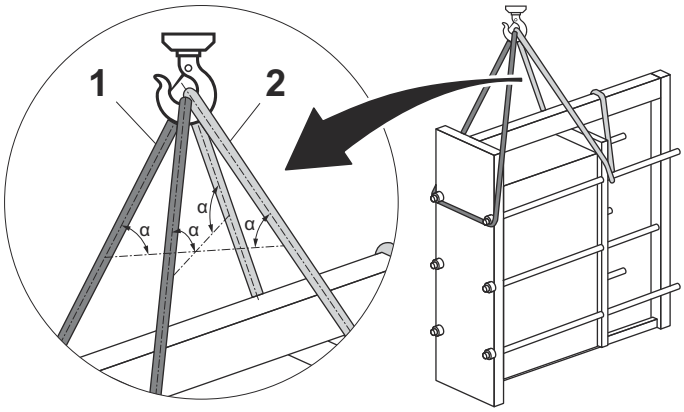
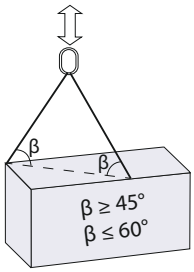


図 3 図はホイストスリングの通し方を示しています。

ホイストスリングは図の通り β 45°から 60°の角度に取り付けてください。

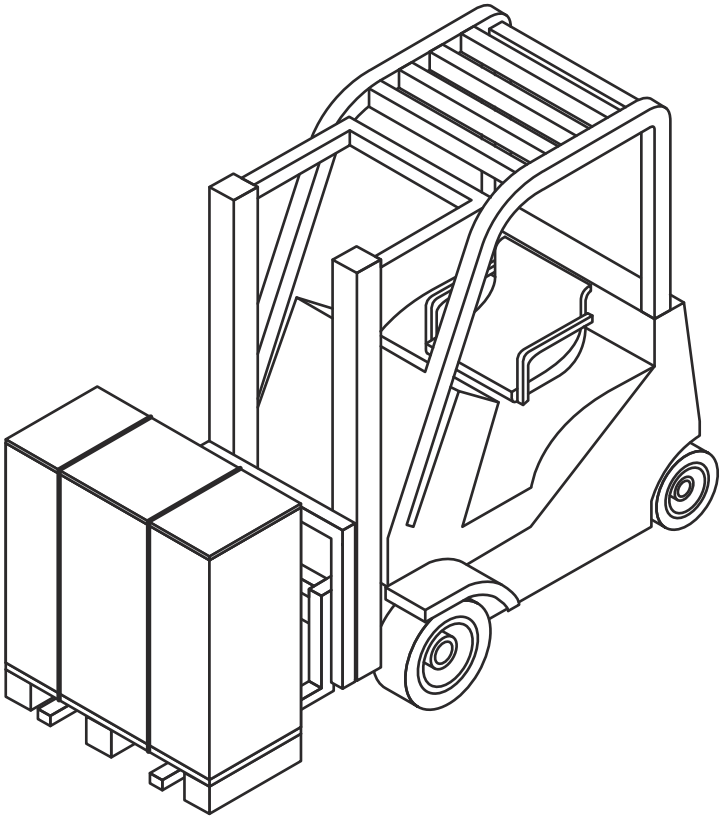


警告 **機器を損傷するリスク。**

この指示に従って吊り上げることができない場合は、権限のある担当者がリスク評価を行う必要があります。

クレート機器

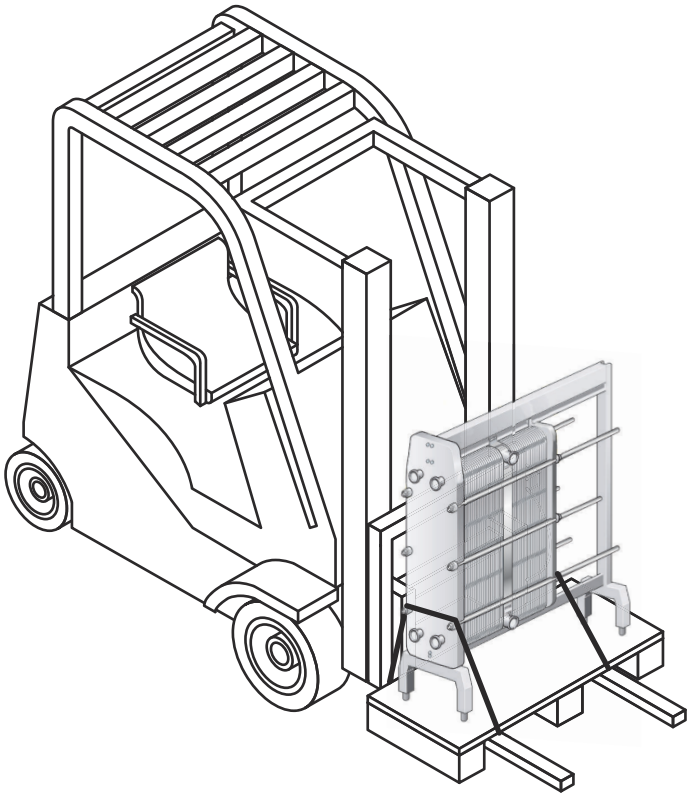
機器が箱詰めされる場合、フォークリフトを使用し、納入されたパレットで持ち上げる必要があります。



パレットから機器を分解します

*取り付け-クレートの開梱*セクションに従って、機器を箱外しします。

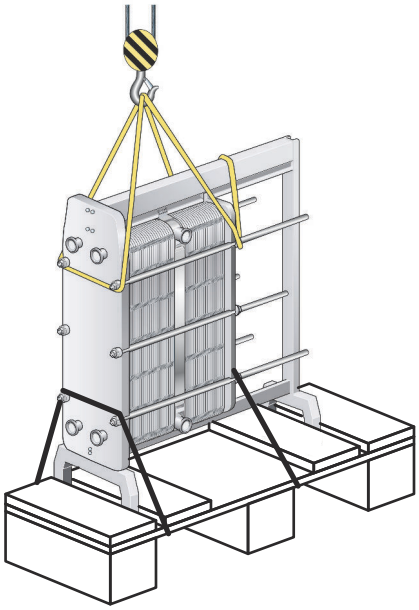
装置をパレットに組み立てたままにして、設置するときまでフォークリフトを使用して取り扱うことを勧めます。



装置をパレットから緩める前に、ホイストスリングを使用して装置が落下しないようにします。

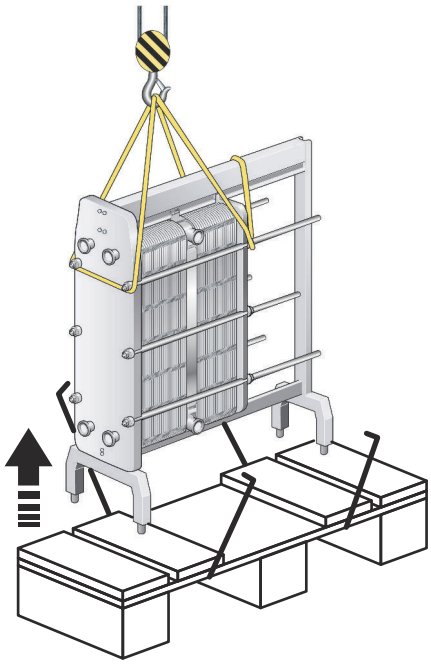
注意

装置やパレットを持ち上げないでください。機器が落下しないように、ホイストスリングのみを伸ばします。



装置をパレットに組み立てるアタッチメントをすべて取り外します。

装置をそっと持ち上げ、パレットから外れることを確認します。



箱外し機器

注意 機器を損傷するリスク。

ホイストスリングや吊金具は、下図の赤丸で示されている取り付け箇所を常に使用してください。記載されている以外のストラップの取り付け箇所、またはストラップの荷重方向は使用できません、アルファ・ラバルからプレート式熱交換器と共に吊金具が付属されていない場合は、対応する器具を選択し、同じ取り付け箇所を使用する必要があります。許可された作業員のみが、責任をもって安全かつ正しい方法で部品の選択と作業を実行します。吊上げ工程では、プレート式熱交換器部品の損傷を避けるよう常に注意してください。

警告 機器を損傷するリスク。

コネクションやその周囲のスタッドボルトで絶対に吊上げないでください。

納入されたパレットを使用して装置を組み立てる場合は、フォークリフトを使用して持ち上げる必要があります。

装置が納入されたパレットから分解された場合、ホイストスリングを使用して持ち上げる必要があります。

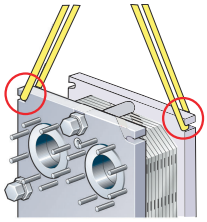


図 4 (T10)、T6 の吊り上げ

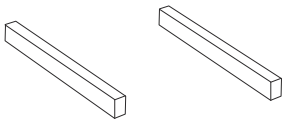
4.6 吊上げ

この説明内容は、アルファ・ラバルからプレート式熱交換器が納品され吊上げる際に有効です。プレート式熱交換器の重量が許容されているストラップのみを使用してください。次の説明の原則に従ってください。

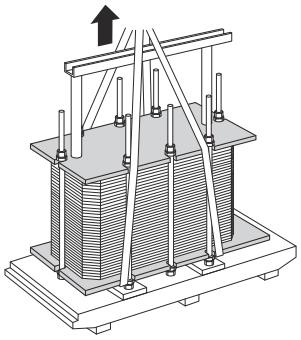
注意 **機器を損傷するリスク。**

ホイストスリングは、プレート式熱交換器の回転に支障のない長さとします。特に支柱のためのスペースを考慮してください。持上げ工程では、プレート式熱交換器部品への損傷を避けるよう常に注意してください。

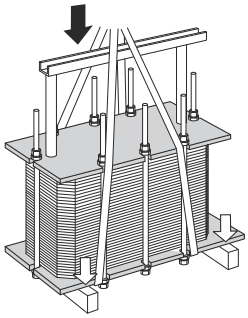
1. 床に木製の梁を 2 本置きます。



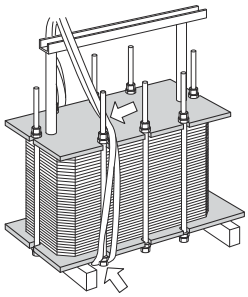
2. ホイストスリングを使用し、プレート式熱交換器をパレットから持ち上げます。

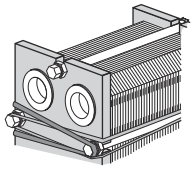


3. プレート式熱交換器を梁の上に置きます。

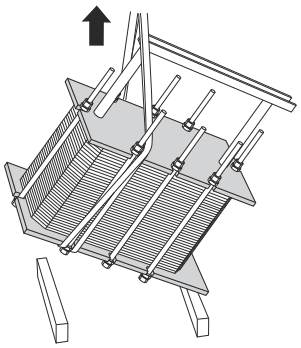


4. 両側に 1 つのボルトの周りにホイストスリングを置きます。

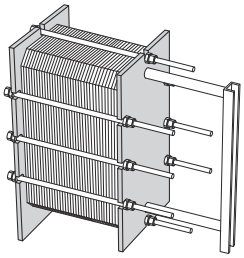




5 プレート式熱交換器を梁から吊上げます。



6 プレート式熱交換器を水平に降ろして床に置きます。



4.7 取り付け前の点検

機器を目的地に設置した場合は、必ず以下の点検を行います。

- A 寸法を確認します。
- すべてのボルトが適切に締められていることを確認します。
- スタンドと脚が適切に締められていることを確認します。
- サービスを実行するために接続配管を取り外すことができることを確認します。
- プレート式熱交換器の片側のプレートを取り外すのに十分なスペースがあることを確認します。

5 運転

5.1 起動

起動時は、プレートパック、バルブ、配管からの漏れが無いことを確認します。

> **注意**
>
> プレート式熱交換器を加圧する前に、プレート式熱交換器の温度が PHE 組立図に記載の温度範囲内であることを確認することが重要です。

> **注意** **漏れの危険があります。**
>
> 運転前のプレート式熱交換器の温度がガスケットの最低使用温度未満の場合は、低温に起因する漏れを防止するため、プレート式熱交換器の温度を最低使用温度以上に暖めることを推奨します。

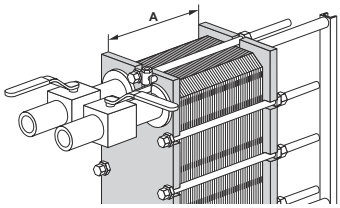
> **注意**
>
> 複数のポンプがシステムにある場合は、どのポンプを最初に起動するのかを確認してください。

遠心ポンプはバルブを閉止した状態で起動し、バルブは出来るだけスムーズに操作する必要があります。

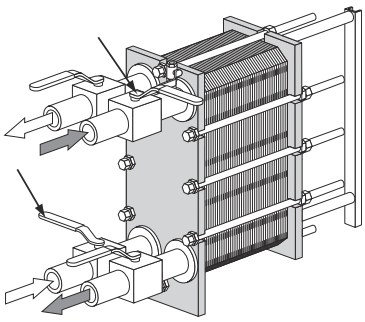
吸引側が空の状態でポンプを作動させないでください。

> **注意**
>
> 圧力の急激な上昇 (ウォーターハンマー) を防止するため、流量調整はゆっくりと行う必要があります。
>
> ウォーターハンマーとは、システムの起動時や停止時に起こる場合がある短時間の圧力ピークであり、液体が配管内を音速で波打って移動します。これは機器に著しい損傷を与える原因となる場合があります。

1. 始動前に、すべての締付ボルトが堅く締付けられ、**A** 寸法が正しいことを確認します。PHE 図面を参照します。



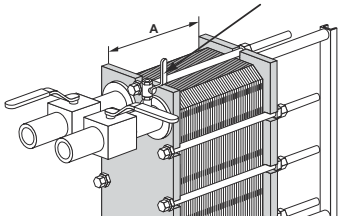
2. 圧力の急激な上昇を回避するため、ポンプと流量制御機器との間のバルブが閉止していることを確認してください。



3. 出口に空気抜きバルブが取り付けられている場合は、バルブが完全に開いていることを確認してください。

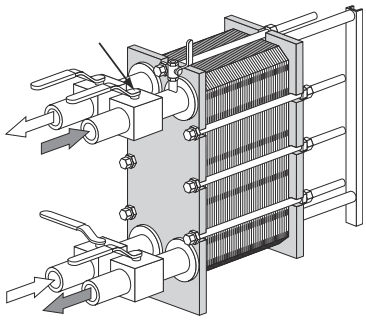
4. 流量を徐々に増加させます。

5. 空気抜きバルブを開けてポンプを始動します。

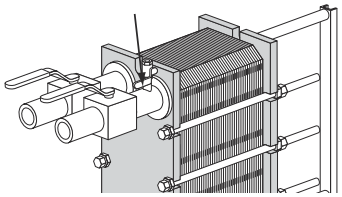


6. バルブをゆっくり開きます。

> **注意**
>
> プレート式熱交換器内部の急激な温度変化を避けてください。100 °C を超える流体は、できれば 1 時間以上かけて温度を徐々に上昇させてください。



7. 空気が完全に排出されてから、空気抜きバルブを閉止してください。



8. 2 番目のメディアに対して手順を繰り返します。

5.2 運転中の熱交換器

急激な温度と圧力変化からシステムを保護する為に、流量の調節はゆっくりと行ってください。

運転中は、流体の温度と圧力が PHE 組立図とネームプレートに記載の値以内であることを確認してください。

警告

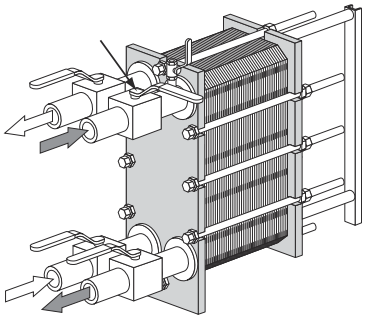
安全な運転に支障をきたすような故障が発生した場合は、圧力を下げるために、プレート式熱交換器への流れを停止させてください。

5.3 停止

注意

複数のポンプがシステムにある場合は、どのポンプを最初に停止するのかをご確認ください。

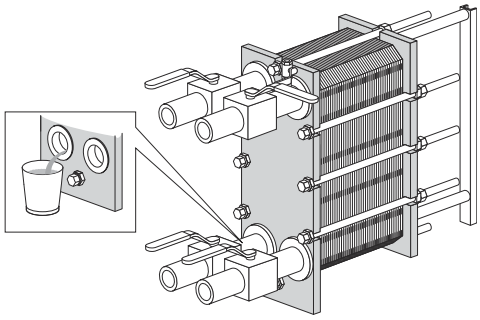
1. 停止するポンプの流量を制御しているバルブをゆっくりと閉じます。



2. バルブを閉止した後、ポンプを停止します。

3. 2 番目のメディアについては、反対側で 2 つの手順を繰り返します。

4. プレート式熱交換器が数日以上停止状態となる場合は、液の排出が必要となります。運転が停止された時に大気温度が流体の冷凍温度以下となる場合は、内部の液を排出してください。流体によっては、プレート式熱交換器とその接続配管を洗浄し、乾燥させることを推奨します。



注意

空気抜きバルブを開けて、プレート式熱交換器内部が真空となることを避けてください。

6 メンテナンス

プレート式熱交換器を良好な状態に保つため、定期的なメンテナンスが必要です。プレート式熱交換器のメンテナンス内容を記録することを推奨します。

プレートは定期的に洗浄する必要があります。洗浄頻度は流体の種類や温度などにより異なります。

様々な方法で洗浄することができます。（*洗浄 - 非製品側* ：ページ 48 手順を参照してください）また、アルファ・ラバルのサービスセンターでリコンディショニングを行うことができます。

長期間の使用後は、プレート式熱交換器のガスケット交換が必要な場合があります。*ガスケット交換* ：ページ 59 手順を参照してください。

その他の定期メンテナンス

- キャリングバーとガイドバーを清浄に保ち、グリスを塗布してください。
- 締付ボルトを清浄に保ち、グリスを塗布してください。
- すべての締付ボルトが堅く締付けられており、**A** 寸法 が正しいことを確認してください。PHE 図面を参照します。

6.1 洗浄 - 非製品側

定置洗浄 (CIP) 装置は、プレート式熱交換器を分解せずに洗浄することが可能です。CIP による洗浄の目的は、次の通りです。

- 汚れの除去や石灰スケールの除去
- 洗浄表面の安定化処理による腐食防止
- 排液前の洗浄液の中和

CIP 装置の取扱説明に従ってください。

警告 人身傷害のリスク。

洗浄剤を使用するときは、適切な個人用保護具を使用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

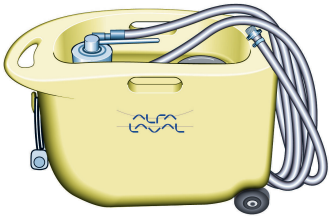
警告 人身傷害のリスク。

腐食性洗浄液皮膚や眼に重傷を負うことがあります。

適切な個人用保護具を使用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

CIP 装置

CIP 装置のサイズについては、アルファ・ラバルの営業担当までお問い合わせください。



警告 人身傷害のリスク。

洗浄後の廃液は、現地の環境規制に従って処理するものとします。大部分の洗浄液は、中和後に下水に排出できますが、廃液に重金属等の有毒物質や環境に悪影響のある物質が含まれていないことを条件とします。廃棄の前に、システムから除去された有害物質が含まれていないかどうか、処理液を分析することを推奨します

洗浄液

流体	説明
AlfaCaus	塗料、脂質、油、生物的堆積物除去用の強アルカリ液。
AlfaPhos	金属酸化物、錆、石灰等の無機質スケール除去用の酸性液。再付着抑制剤を含む。
AlfaNeutra	排液前の AlfaPhos 中和用の強アルカリ液
Alfa P-Neutra	AlfaP-Scale 中和用
Alfa P-Scale	炭酸塩スケールや無機質スケール除去用の酸性粉末洗浄剤
AlfaDescalent	無機質スケール除去用の無害な酸性洗浄液

流体	説明
AlfaDegreaser	油、グリス、ワックス除去用の無害な洗浄液 Alpacon Descaler を使用すれば、付着防止の効果もあります。
AlfaAdd	AlfaPhos、AlfaCaus、Alfa P-Scale との併用を目的とする中性洗浄強化剤。0.5～1 vol % を洗浄液に加えると、油脂の付着した表面や有機体の繁殖に対する洗浄効果が向上します。AlfaAdd は付着物を減少させる効果もあります。

CIP を実施できない場合、分解洗浄する必要があります。*分解洗浄* ：ページ 54 セクション をご参照ください。

成長抑制剤としての塩素

水冷却システムの成長抑制剤として一般的に使用されている塩素は、ステンレス鋼 (254 SMO 等の高合金を含む) の耐食性を低下させます。

塩素はこれらの鋼材の保護被膜の機能を弱め、塩素を使用しない時よりも腐食しやすくなります。この程度は、処理時間と濃度によります。

チタン製以外の機器に塩素処理が必要な場合は、お近くの担当者までお問い合わせください。

330 ppm 以上の塩素イオンを含む水は、洗浄液の調製に使用しないでください。

注意 人身傷害のリスク。

塩素使用後の廃液の取り扱いは、必ず地域の環境規制に従ってください。

6.2 分解

プレートを洗浄する際は、プレート式熱交換器を分解する必要があります。

注意

プレート式熱交換器を分解する前に、保証条件を確認してください。ご不明な点がございましたら、アルファ・ラバルの営業担当までお問い合わせください。*はじめに*編の*保証条件*セクションを参照します。

警告 人身傷害のリスク。

プレート式熱交換器は高温になる場合があります。

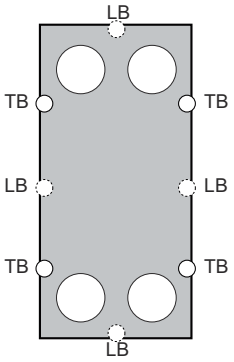
プレート式熱交換器が約 40°C（104°F）に冷めるまで待ちます。

警告 人身傷害のリスク。

適切な保護具を使用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

6.2.1 ボルトの構成

プレート式熱交換器のボルト構成は型式により異なります。プレートパックの主要な力は、締付ボルト (TB) により保持されています。固定フレームと遊動フレームに対して均等に力を配分するため、ロックボルト (LB) も使用されます。ロックボルトは比較的短く、寸法も小さくなっている場合があります。分解・組立作業では、締付ボルト (TB) とロックボルト (LB) を識別することが重要です。下の図を参照します。



6.2.2 開放の手順

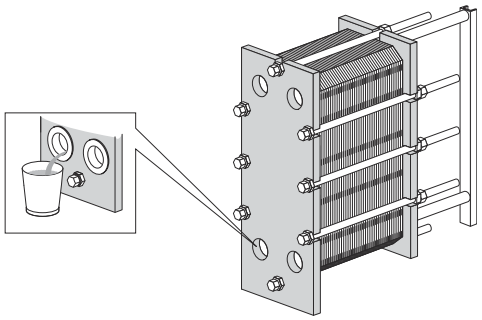
1. プレート式熱交換器を停止させます。
2. バルブを閉止し、プレート式熱交換器をシステムの他の部分から隔離します。

注意

プレート式熱交換器は、取り外す前に圧力をかけないようにする必要があります。

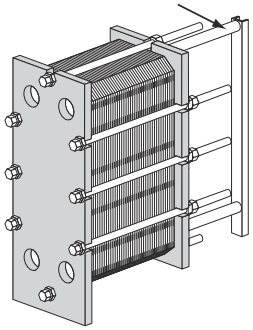
3 プレート式熱交換器内の液を排出します。

> **注意**
>
> 空気抜きバルブを開けて、プレート式熱交換器内部が真空となることを避けてください。

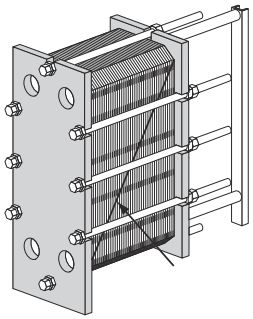


4 保護シートがある場合は、取り除いてください。

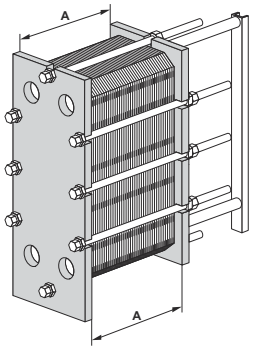
5 キャリーバーの滑り面を点検します。すべり面をきれいに拭き、グリスを塗ります。



6 プレート構造部品の外側に斜線で印を付けます。



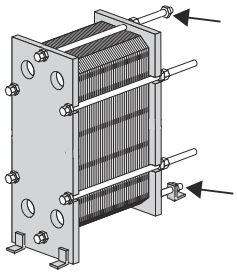
7 A 寸法を確認して記録します。



8 ナットで固定された分割バーを使用する T6 および T10 プレート式熱交換器モデル。

ナット、ガイドバーサポートフット、外側バーエンド、ナット、ワッシャを取り外します。

外側バーエンド、サポートフット、ワッシャー、ナットの順番で組み立てます。



注意

T6 および T10 プレート式熱交換器モデルを開くなら、キャリーバーおよびガイドバーを摩耗する可能性があります。その場合に、T6 および T10 熱交換器モデルを交換する必要があります。

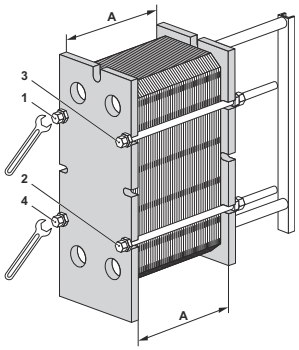
9 ロックボルトを緩めて取り外します。*ボルトの構成* ：ページ 50 に従ってそれらを識別します。

注意

締付ボルトのねじ山に金属ブラシをかけ、緩める前にねじ山にグリスを塗布します。

10 締付ボルトを使用してプレート式熱交換器を開きます。分解作業時は、固定フレームと遊動フレームを常に平衡に維持してください。分解時の遊動フレームの傾きは、横方向 10 mm (ボルト 2 回転分) 縦方向 25 mm (ボルト 5 回転分) を超えないようにしてください。

プレートパックの寸法が 1.05×**A** になるまで、4 本の締付ボルト (1)、(2)、(3)、(4) を斜めに緩めます。この時固定フレームと遊動フレームが平行になっていることを確認します。プレートパックの反力が無くなるまで、各ボルトを交互に緩めていきます。反力が無くなってからボルトを取り外します。



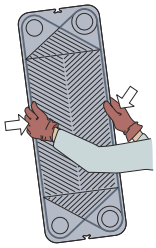
11

注意

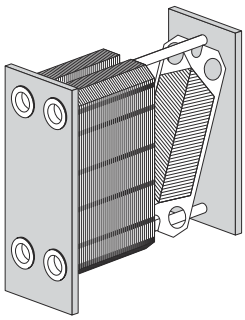
人身傷害のリスク。

プレートと保護シートのエッジは鋭利です。

プレートと保護シートを取り扱う際は、個人用保護具を着用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。



圧力フレームをキャリングバー上で滑らせてプレートパックを分解します。



プレートに番号を付ける必要がある場合は、プレートを取り外す前に番号を付けます。

洗浄剤を使用せず、水のみで洗浄する場合は、プレートを取り外す必要はありません。

警告

人身傷害のリスク。

プレートパックには、排液後も微量の液が残っている場合があります。

製品タイプと取り付け方法の違いにより、人への傷害や機器への損害を防止するため、ドレンパン等の特別な措置が必要になります。

6.3 分解洗浄

注意

ステンレス製のプレートには、洗浄に塩酸を使用しないでください。330 ppm 以上の塩素イオンを含む水は、洗浄液の調製に使用しないでください。

アルミニウム製のキャリングバーと支柱を化学物質から保護することが極めて重要です。

注意

分解洗浄時はガスケットを傷つけないよう注意してください。

警告 人身傷害のリスク。

洗浄剤を使用するときは、適切な個人用保護具を使用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

警告 人身傷害のリスク。

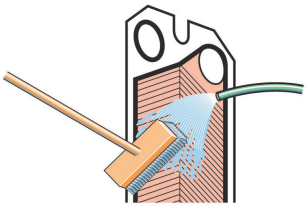
腐食性洗浄液皮膚や眼に重傷を負うことがあります。

洗浄剤を使用するときは、適切な個人用保護具を使用します。*安全*編の*個人用保護具*セクションを参照します。

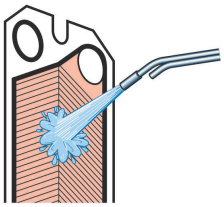
6.3.1 水とブラシによる堆積物の除去

洗浄時にプレートをプレート式熱交換器から取り外す必要はありません。

1. 伝熱面が乾く前に、プレートがフレームに吊られた状態で洗浄を開始してください。
2. 柔らかいブラシと流水で堆積物を除去します。



3. 高圧ホースを用いて水で洗浄してください。



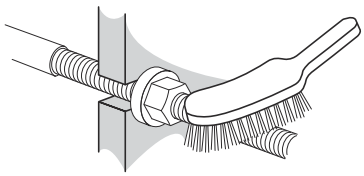
6.4 組立

適切にプレート式熱交換器を組立てるため、次の説明に従ってください。

ボルトの識別については、*ボルトの構成* ：ページ 50 セクションを参照します。

1. すべてのシーリング面が汚れていないことを確認します。

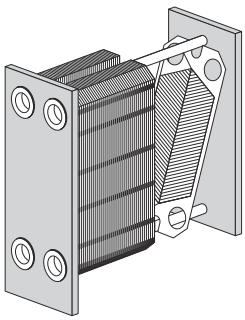
2. 金属ブラシまたはアルファ・ラバルのスレッドクリーナーでボルトのねじ山を清掃します。ねじ山に Gleitmo 800 または同等品などのグリスを塗布します。



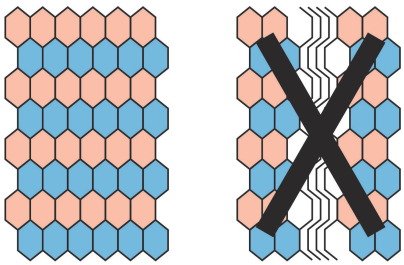
3. ガスケットをプレートに取り付け、ガスケットが適切に取り付けられていることを確認します。すべてのガスケットが溝に正しく取り付けられていることを確認してください。

> **注意**
>
> ガスケットの位置に誤りがある場合は、ガスケットが溝から盛り上がったり、溝からはみ出たりしています。

4. プレートが取り外されている場合は、プレートの方向を交互に変え、プレート構成リストに指定された通り、固定フレームまたは遊動フレームにガスケットを向けて挿入します。プレート式熱交換器を開いたときに作成されたマーク付きの線を使用し、*開く—手順*を参照します。



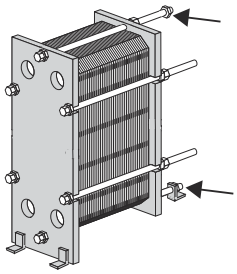
5. プレート式熱交換器を開いたときに作成されたマーク付きの線を使用し、*開く—手順*を参照します。プレートが正しく組み付けられている場合 (A/B/A/B 等) は、エッジ部に図のような「ハニカム」パターンが形成されます。



6 ナットで固定された分割バーを使用する T6 および T10 プレート式熱交換器モデル。

ナット、ワッシャ、ガイドバーサポートフット、および外側バーエンドを取り外します。

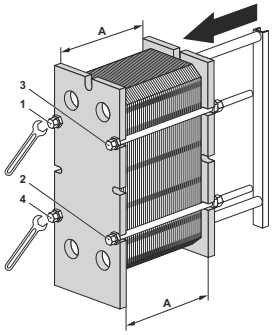
ワッシャー、ナット、外側バーエンド、ガイドバーサポートフット、そしてナットの順番で組み立てます。



注意

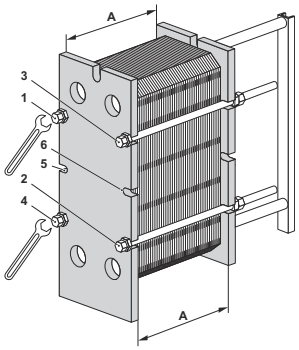
T6 および T10 プレート式熱交換器モデルを開くなら、キャリーバーおよびガイドバーを摩耗する可能性があります。その場合に、T6 および T10 熱交換器モデルを交換する必要があります。

7 プレートパックを圧縮させます。4 本の締付ボルトを図に従って配置します。プレートパックの寸法が 1.10×**A** になるまで、4 本のボルト(1)、(2)、(3)、(4)を締めていきます。この時固定フレームと圧力フレームが平行になっていることを確認します。



8 4 本のボルト (1)、(2)、(3)、(4)を平行に寸法 **A** になるまで締めていきます。

空圧の締付工具を使用する場合は、下表の最大トルクを確認してください。締め付け時に A 寸法を確認します。



ボルト寸法	ワッシャー付ボルト	
	Nm	kpm
M16	135	13.5
M20	265	26.5
M24	450	45

手動締付けの場合は、締付トルクを推算する必要があります。

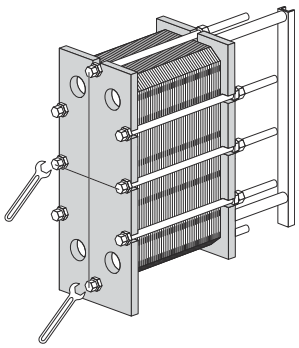
A 寸法に達しない場合：

- プレート枚数と A 寸法を確認してください。
- すべてのナットが自由に動いていることを確認します。この状態でない場合は、掃除して潤滑剤を塗布するか、交換してください。

注意

T6 および T10 プレート式熱交換器のキャリーバーおよびガイドバーを空気で締め付けると、外側バーエンドが損傷します。

9 残りのロックボルトを締付けて、**A** 寸法の上下と両端を確認します。



10 プロテクションシートを、仕様に応じて取り付けます。

11 パイプを接続します。

12 A 寸法に達したときにプレート式熱交換器がシールしない場合は、所定の A 寸法値から 1.0%を差し引いてさらに締め付けることができます。

6.5 メンテナンス後の圧力試験

このプロセスは、現地の法令および適用される基準により許可された人が行わない限り認められません。そのような人が内部にいない場合は、第三者の許可を受けた事業者は、適切な装置を使用して現地の法規に従って作業することができます。

プレートまたはガスケットが交換されずに取り外された後は、製造開始前に静水圧漏れ試験を実施してプレート式熱交換器内部・外部の密閉機能を確認するよう、強く推奨されています。この試験では、片側を加圧して他方を大気開放の状態とする必要があります。複数パス設定の場合は、同時に同じ側のすべてのセクションの試験を行う必要があります。推奨の試験時間は、各側につき 10 分です。

注意 **機器を損傷するリスク。**

漏れ試験の推奨圧力は、実際の運転圧力+10%ですが、絶対にネームプレートに記載された設計圧力を超えないようにしてください。

警告 **人身傷害のリック。**

気体 (圧縮ガス) により加圧する試験は大変危険です。圧縮媒体を使用する試験の危険に関する現地の法律、規則を遵守してください。危険の例は、制御不能な媒体の拡張による爆発リスクと酸素不足による窒息の危険性です。

警告 **機器を損傷するリスク。**

プレート式熱交換器の再構築や改造の責任はエンドユーザーにあります。プレート式熱交換器の再認証や圧力試験 (PT) に関しては、サービス検査に係る現地の法律、規則を遵守してください。再構築の例としては、プレートパックのプレート枚数を増やすことです。

プレート式熱交換器の試験要領に関してご不明な点がございましたら、アルファ・ラバルの担当者までお問い合わせください。

6.6 ガスケット交換

以下の手順は フィールドガスケット、リングガスケット、エンドガスケットに関するものです。

> **注意**
>
> 古いガスケットを除去する前に、ガスケットの取り付け状態を確認します。

6.6.1 クリップ・オン式 / クリップ・グリップ式

1. *分解* ：ページ 50 セクションを参照してプレート式熱交換器を分解し、

   > **注意**
   >
   > プレート式熱交換器を分解する前に、保証条件を確認してください。ご不明な点がございましたら、アルファ・ラバルの営業担当までお問い合わせください。*はじめに*編の*保証条件*セクションを参照します。

2. 古くなったガスケットを取り外します。

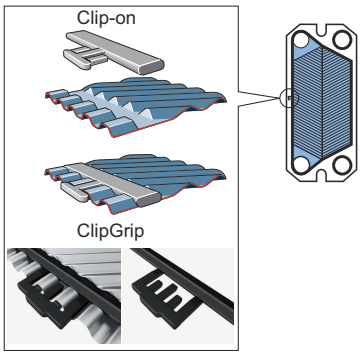
3. すべてのシール面が乾燥し、清浄であり、脂質、グリス等の異物が無いことを確認します。

4. 取り付ける前にガスケットを点検し、ゴムの残留物等を取り除きます。

   > **注意**
   >
   > 特にエンドプレートのガスケットは、この点に注意してください。

5. ガスケットをプレートに取り付けます。ガスケットのクリップ部をプレートのエッジ下に挿入します。

   > **注意**
   >
   > 2 つのガスケットの突起が正しい位置にあることを確認します。



6. 再ガスケットが必要なすべてのプレートで手順を繰り返します。*組立* ：ページ 55 に従ってプレート式熱交換器を閉鎖します。

7 プレート式熱交換器の保管

警告 機器を損傷するリスク。

クレートは積み重ねられるようには設計されていません。

クレートの上に荷物を置いてはいけません。

アルファ・ラバルは、別途合意のない限り、直ちに運転可能な状態でプレート式熱交換器を納品します。

1 ヵ月以上の長期保管をする場合、プレート式熱交換器に対する不必要な損傷を避けるために、特定の予防措置を行う必要があります。*屋外の保管* : ページ 61 および *屋内の保管* : ページ 61 セクション を参照

注意

アルファ・ラバルおよびその代表者は、契約書に記載されている保証期間の満了まで、必要に応じて保管場所・機器を調査する権利を留保します。当該調査の日の 10 日前に通知する必要があります。

プレート式熱交換器の保管に関して、ご不明な点がございましたら、アルファ・ラバルの担当者までお問い合わせください。

7.1 クレートでの保管

納品後にプレート式熱交換器を保管することが事前に判っている場合は、保管用として梱包前に準備させていただくため、プレート式熱交換器発注時にアルファ・ラバルまでご一報ください。

屋内の保管

- 温度 15～20°C(60 ～ 70 °F)、湿度 70% 前後の部屋に保管屋外の保管の説明 *屋外の保管* : ページ 61。
- ガスケットの損傷を防ぐため、保管する部屋に、電気モーターや溶接機器等のオゾンを発生する機器は設置しないでください。
- ガスケットの損傷を防ぐため、保管する部屋に、有機溶剤や酸を収納せず、直射日光、熱放射や紫外線を避けてください。
- 締付ボルトは、十分にグリスを塗布する必要があります。*組立* : ページ 55 セクション をご参照ください。

屋外の保管

屋外でプレート式熱交換器を保管する必要がある場合、*屋内の保管* : ページ 61 の全ての注意事項と以下の注意事項に従ってください。

保管中のプレート式熱交換器は 3 ヵ月毎に目視検査するものとします。梱包を閉じる際は、元の状態に戻すものとします。この検査には、次の項目が含まれます。

- 締付ボルトのグリス
- 金属ポートカバー
- プレートパックとガスケットの保護
- 梱包

7.2 休止

何らかの理由でプレート式熱交換器の運転を長期間休止する場合、*屋内の保管* ：ページ 61 の説明に従ってください。ただし、保管する前に次の作業を行う必要があります。

- プレートパックの寸法を確認します (固定フレームと遊動フレームの間の寸法：A 寸法)。
- プレート式熱交換器の両側流体を排出します。
- 流体によっては、プレート式熱交換器の洗浄と乾燥が必要となります。
- 配管が接続されていない場合は、接続部を覆う必要があります。接続部にはプラスチックまたは合板製のカバーを使用してください。
- プレートパックを不透明のプラスチックフィルムで覆います。

長期運転休止後の始動

1 年以上の長期間にわたるプレート式熱交換器の運転休止後は、始動時に漏れのリスクが増加します。この問題を解決するために、ガスケットのゴムを弛緩させて、弾力性を回復することを推奨します。

1. プレート式熱交換器が設置されていない場合、*設置* ：ページ 23 の説明に従ってください。
2. 固定フレームと遊動フレーム間の寸法 (A 寸法) の測定値を記録します。
3. 締付ボルトを緩めます。*分解* ：ページ 50 の説明に従ってください。プレートパックの寸法が 1.25×A になるまでプレート式熱交換器を開きます。
4. プレート式熱交換器 を 24～48 時間放置します。時間が長いほどガスケットの弛緩に効果的です。
5. *組立* ：ページ 55 の指示に従って締め直します。
6. アルファ・ラバルは、水圧試験の実施を推奨します。プレート式熱交換器への急激なショックを回避するため、流体 (通常は水) を徐々に注入します。設計圧力で試験することを推奨します。PHE 図面を参照します。